

きゅうり特報 No.7

2025 年 8 月 15 日
JA 中野市園芸課
JA 中野市きゅうり部会

生育観察及び病害虫発生状況の確認を行い、防除間隔が空かない様に定期散布を実施して下さい。

露地作型

【 8 月中旬～下旬 防除 】

散布薬剤	水 100L 当り		月 日 ℓ
	展着剤(ハイクワール)	10ml	
	プレオフロアブル	100ml	
	セイビアーフロアブル 20	100ml	
散布量	300L/10a		
適用病害虫	ウリノメイガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類 褐斑病、灰色かび病、菌核病		

【 8 月下旬 防除 】

散布薬剤	水 100L 当り		月 日 ℓ
	展着剤(まくぴか)	30ml	
	トレボン乳剤	100ml	
	オーソサイド水和剤 80	166g	
散布量	300L/10a		
適用病害虫	アブラムシ類、コナジラミ類 褐斑病、炭そ病、べと病、つる枯病		

～今後の管理～

- ①「つる枯れ病」が発生しています。発生が見られる場合は、「トップジン M 水和剤 1,500 倍」または「スミレックス 水和剤 1,000 倍」を防除暦の殺菌剤と変えて散布して下さい。発病初期は写真の様に、葉がくさび形に枯れてくる。進行が進むと枯れた部分に黒い粒が発生する。



写真 1 つる枯れ病の症状

裏面もご覧下さい

②「カメムシ類」が発生しています。発生が見られる場合は、「ダントツ水溶剤 2,000 倍」を防除暦の殺虫剤と変えて散布して下さい。※使用回数 3 回以内
既にダントツ水溶剤を 3 回散布している方は「アディオン乳剤 2,000 倍」を散布して下さい。※使用回数 3 回以内

③「炭そ病」や「褐斑病」の発生が心配されます。拡大防止のため葉を取ると、光合成量が減り、曲がり果などの変形果が増えやすくなります。曲がりのきつい実などは早くから摘果してください。新しい葉や脇芽を伸ばすには、かん水や土壌灌注(発根材)が有効です。土壌灌注資材「太古の底力 1,000 倍」

ハウス作型

【 8 月中旬 防除 】

散布薬剤	水	100L	月	日	ℓ
	展着剤(ハイクワール)	10ml			
	カネマイトフロアブル	100ml			
	ウララ DF	50g			
	ダコニール 1000	100ml			
散布量	300L/10a				
適用病害虫	ハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類、べと病、うどんこ病、炭そ病、褐斑病、灰色かび病、黒星病				

【 8 月下旬 防除 】

散布薬剤	水	100L	月	日	ℓ
	展着剤(ハイクワール)	10ml			
	ダントツ水溶剤	50g			
	ベルコート水和剤	50g			
散布量	300L/10a				
適用病害虫	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ、コナジラミ類、カメムシ類 うどんこ病、褐斑病、灰色かび病、炭そ病				

①日中気温が高く、換気が必要になります。しかしハウス内が乾燥すると曲がり果が発生しやすくなるので、通路散水などハウス内の湿度を上げるようにして下さい。

②本防除で最後になります。長期間の栽培ありがとうございました。

お問い合わせ先：JA 中野市園芸課(佐藤・松井)

- ・ 佐藤(携帯) 080-6932-1294
- ・ 松井(携帯) 090-6397-1620